

## 実績報告書

届出者	住所	堺市堺区南安井町1丁1番1号	氏名	社会医療法人 清恵会 理事長 佐野 記久子
特定事業者の主たる業種		83医療業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		堺市堺区で2病院1クリニックを擁する医療法人です。総病床数は576床で、救急医療から訪問看護まで幅広く地域医療を担っています。平成27年10月に清恵会病院と清恵会三国丘クリニックを統合し、現在の南安井町に移転開院しました。又、堺区及び北区に医療専門学院を開設しています。		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1) 計画期間					
2017年	4月	1日	～	2020年	3月31日 (3年間)

(2) 前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度(2016)年度	前年度(2019)年度
温室効果ガス総排出量	7,659 t-CO <sub>2</sub>	6,785 t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	8,209 t-CO <sub>2</sub>	7,202 t-CO <sub>2</sub>
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO <sub>2</sub>

(3) 温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2019年度)	第1年度 (2017年度)	第2年度 (2018年度)	第3年度 (2019年度)
選択	削減率(排出量ベース)	%	%	%	%
	レ 削減率(原単位ベース)	-0.5%	4.1%	11.2%	-34.8%
削減率(平準化補正ベース)		-0.6%	4.1%	11.2%	-33.5%
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	( )
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

<p>主な事業所において老朽化した照明器具のLED置換を推進している。(31年度は約500本置換実施)</p>
---

(2) 推進体制

<p>毎月の施設運営会議(各施設の管理者出席)においてエネルギー使用データを基に、現状の把握と対処方法について協議しています。またエネルギー使用量等の数値を各所属長レベルにも周知し省エネへ行動推進を実行している。</p>
<p>省エネを推進する上での注意事項をまとめた『エコライフ宣言』を作成、各部署に掲示して全社員の意識向上を継続している。</p>

# 実績報告書

届出者	住所	大阪府大阪市住之江区南港東 2-2-39	氏名	清和ウエックス株式会社 代表取締役 廣瀬 武
特定事業者の主たる業種		78洗濯・理容・美容・浴場業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		リネンサプライ業として、ユニフォームレンタル、テーブルリネンサプライ、ホテルリネンサプライ、産業用リネンサプライをサービスし、全国に関連工場が18拠点ある。		

## ◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1) 計画期間					
29年	4月	1日	～	32年	3月31日 (3年間)

### (2) 前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度(28)年度	前年度(31)年度
温室効果ガス総排出量	6,187 t-CO <sub>2</sub>	7,014 t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	6,392 t-CO <sub>2</sub>	7,244 t-CO <sub>2</sub>
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO <sub>2</sub>

### (3) 温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2019年度)	第1年度 (2017年度)	第2年度 (2018年度)	第3年度 (2019年度)
選択	削減率(排出量ベース)	%	%	%	%
	レ 削減率(原単位ベース)	3.0%	0.9%	4.8%	4.3%
削減率(平準化補正ベース)		3.0%	0.9%	4.6%	4.3%
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	(生産量(計量値))
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

## ◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

### (1) 温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

<p>平成31年度は基準年度の平成28年度よりエネルギー総使用量、温室効果ガス排出量も増えている。しかし生産量も増えており、原単位としては減少している。27年度より生産量集計方法を変更しており、計量値での報告になっている。</p>
---

### (2) 推進体制

<p>エネルギー管理統括者とエネルギー管理推進者を軸に、各課でも推進担当者を選出。日々のエネルギー使用量と原単位を見える化し、昨年同月対比での比較を実施。良かったポイントや悪化理由を明確にし今後の活動に繋げている。また、グループ会社含めて月1回の経営会議で省エネの結果報告を行い、経営陣との情報共有を実施。</p>
---

## 実績報告書

届出者	住所	大阪府大阪市阿倍野区旭町1-2-7 あべのメディックス13階	氏名	全星薬品工業株式会社 代表取締役 中出 登
特定事業者の主たる業種		32その他の製造業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		主に医薬品の製造を行っており、大阪府内では2工場と1本社を有している。		

### ◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1) 計画期間					
2017 年	4 月	1 日	～	2020 年	3 月 31 日 (3年間)

#### (2) 前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度( 2016 )年度	前年度( 2019 )年度
温室効果ガス総排出量	13,062 t-CO <sub>2</sub>	12,367 t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	14,315 t-CO <sub>2</sub>	13,562 t-CO <sub>2</sub>
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO <sub>2</sub>

#### (3) 温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2019 年度)	第1年度 (2017 年度)	第2年度 (2018 年度)	第3年度 (2019 年度)
選択	レ	%	%	%	%
	削減率(排出量ベース)	3.0 %	15.9 %	11.4 %	15.7 %
削減率(平準化補正ベース)		3.0 %	15.6 %	11.1 %	15.6 %
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値		(生産量(医薬品:固形製剤))
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)		

### ◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

#### (1) 温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・B棟照明のLED化</li> <li>・時間外勤務、休日出勤の削減によるエネルギー削減</li> </ul>
--

#### (2) 推進体制

<ul style="list-style-type: none"> <li>・全社的に温暖化対策に取り組むため、エコアクション21を導入しています。</li> <li>・EHS事務局を設置し、年4回対策の進捗状況を報告し、現状改善などを検討するとともに、工場ごとに年に一度温暖化防止に関する教育訓練を実施する等して、本体制を継続していきます。</li> </ul>
---